

庶務報告

(1) 会員の異動状況

	平成21年2月現在	平成20年2月現在	増減
名誉会員	52名(含国外20)	47名(含国外19)	+ 5
正会員	4,366名	4,332名	+ 34
外国会員	26名	26名	0
賛助会員	26社	26社	0
入会	正189名 賛助1名		
退会	正155名 (含除名70名) 賛助1名		

物故会員(順不同) 敬称略 -

名誉会員 おぎの よういち
荻野 洋一

正会員 こばやし としお さかい のぐち ひでき ほんま みつまさ
小林 敏男、酒井めぐみ、野口 秀樹、本間 光正、

たいら ゆういち
平良 祐一 (以上 6名)

(2) 会議に関する事項

1. 理事会

平成20年度第1回 平成20年7月8日(火)

八重洲富士屋ホテル 3F 『けやき』

- 議事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
(2) 第17回基礎学術集会の件
(3) 第52回総会・学術集会報告の件
(4) 第18回基礎学術集会の件
(5) 平成20年度各種委員会活動方針並びに予算案の件
(6) 各種委員会報告の件
(7) 会費滞納者除名に関する件
(8) 新入会員・退会会員の件
(9) その他

平成20年度第2回 平成20年10月1日(水)

リーガロイヤルホテル東京 2F 『サファイア』

- 議事 (1) 前回議事録・議事要録確認の件
(2) 第17回基礎学術集会の件
(3) 第52回総会・学術集会の件
(4) 第18回基礎学術集会の件
(5) 第51回総会・学術集会の件

- (6) 平成 2 0 年度会計中間報告の件
- (7) 各種委員会報告の件
- (8) 新入会員・退会会員の件
- (9) その他

平成 2 0 年度第 3 回 平成 2 1 年 2 月 2 6 日 (木)

八重洲富士屋ホテル 3 F 『けやき』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 1 7 回基礎学術集会の件
 - (3) 第 5 2 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 1 8 回基礎学術集会の件
 - (5) 第 5 3 回総会・学術集会の件
 - (6) 評議員選挙結果報告の件
 - (7) 平成 2 0 年度収支見込決算ならびに平成 2 1 年度予算大綱の件
 - (8) 各種委員会報告の件
 - (9) 名誉会員等推戴に関する件
 - (1 0) 会費滞納者除名に関する件
 - (1 1) 新入会員・退会会員の件
 - (1 2) その他

平成 2 0 年度第 4 回 平成 2 1 年 4 月 2 1 日 (火)

ヨハマランド インターコンチネンタルホテル 3 F 『アトランティック』

- 議 事
- (1) 前回議事録・議事要録確認の件
 - (2) 第 5 2 回総会・学術集会の件
 - (3) 第 5 3 回総会・学術集会の件
 - (4) 第 5 4 回総会・学術集会の件
 - (5) 第 1 8 回基礎学術集会の件
 - (6) 第 1 9 回基礎学術集会の件
 - (7) 第 2 0 回基礎学術集会の件
 - (8) 平成 2 0 年度会計決算報告ならびに平成 2 1 年度予算案の件
 - (9) 名誉会員等推戴に関する件
 - (1 0) 各種委員会報告の件
 - (1 1) 日韓形成外科学会の件
 - (1 2) 日中形成外科学会の件
 - (1 3) 会費滞納者除名に関する件
 - (1 4) 新入会員・退会会員の件
 - (1 5) 評議員提出議題の件
 - (1 6) その他

2 . 評 議 員 会

平成 2 0 年度定例評議員会 平成 2 0 年 4 月 8 日 (火)

名古屋マリオットアソシアホテル 16 F 『アイリス』

- 議 事
- (1) 平成 1 9 年度年次報告の件
 - (2) 平成 1 9 年度収支決算の件
 - (3) 平成 2 0 年度事業計画の件
 - (4) 平成 2 0 年度収支予算の件
 - (5) 定款細則ならびに専門医制度細則改定に関する件

- (6) 名誉会員推戴の件
- (7) 第 5 1 回通常総会・学術集会の件
- (8) 第 5 2 回(次期)通常総会・学術集会の件
- (9) 第 5 3 回(次次期)会長候補者選出の件
- (10) 次次次期会長候補者選出の件
- (11) 第 5 4 回(次次次期)会長候補者選出の件
- (12) 第 1 7 回基礎学術集会の件
- (13) 第 1 8 回(次期)基礎学術集会の件
- (14) 第 1 9 回(次次期)基礎学術集会会長候補者選出の件
- (15) 第 2 0 回(次次次期)基礎学術集会会長候補者選出の件
- (16) 日韓形成外科学会の件
- (17) 日中形成外科学会の件
- (18) 会費滞納者除名の件
- (19) データベース立ち上げの件
- (20) 評議員提出議題の件
- (21) その他

3 . 総 会

平成 2 0 年度通常総会 平成 2 0 年 4 月 1 0 日(木)

名古屋国際会議場 『センチュリーホール』

- | | |
|-----|--|
| 議 事 | <ul style="list-style-type: none"> (1) 平成 1 9 年度年次報告の件 (2) 平成 1 9 年度収支決算の件 (3) 平成 2 0 年度事業計画の件 (4) 平成 2 0 年度収支予算の件 (5) 定款細則ならびに専門医制度細則改定に関する件 (6) 名誉会員承認の件 (7) 第 5 1 回通常総会・学術集会の件 (8) 第 5 2 回(次期)通常総会・学術集会の件 (9) 第 5 3 回(次次期)会長候補者承認の件 (10) 次次次期会長選出承認の件 (11) 第 5 4 回(次次次期)会長候補者承認の件 (12) 第 1 7 回基礎学術集会の件 (13) 第 1 8 回(次期)基礎学術集会の件 (14) 第 1 9 回(次次期)基礎学術集会会長候補者承認の件 (15) 第 2 0 回(次次次期)基礎学術集会会長候補者承認の件 (16) 日韓形成外科学会の件 (17) 日中形成外科学会の件 (18) 会費滞納者除名の件 (19) 評議員提出議題の件 (20) その他 |
|-----|--|

事業報告

(1) 第51回日本形成外科学会総会・学術集会

会期：平成20年4月9日(水) 10日(木) 11日(金)

会場：名古屋国際会議場(愛知)

会長：鳥居 修平 名古屋大学形成外科学教室

下記の日本形成外科学会特別講演、招待講演、Memorial lecture、Young investigator lecture、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッションが行われた。

- 【特別講演】 第1日 4月9日(水)
司会 慶應義塾大学形成外科 中島 龍夫
『高齢社会と今後の医療』
国立長寿医療センター総長 大島 伸一
- 【特別講演】 第2日 4月10日(木)
司会 川崎医科大学形成外科 森口 隆彦
『チンパンジーの親子と文化』
京都大学霊長類研究所所長 松沢 哲郎
- 【招待講演】 第1日 4月9日(水)
司会 帝京大学形成外科 平林 慎一
『Human Facial Allotransplantation : 21 months following up』
Dept. of Plastic Surgery, Xijing Hospital, China
Shu-zhong Guo MD
- 【招待講演】 第1日 4月9日(水)
司会 新潟大学形成外科 柴田 実
『Facial Transplantation Facts or the Future?』
Dept. of Plastic Surgery, The Cleveland Clinic Foundation, USA
Maria Siemionow MD
- 【招待講演】 第2日 4月10日(木)
司会 東京女子医科大学形成外科 野崎 幹弘
『Aesthetic Breast Surgery』
Dept. of Plastic Surgery, Georgetown University Hospital, USA
Scott L Spear MD
- 【招待講演】 第3日 4月11日(金)
司会 国立成育医療センター形成外科 金子 剛
『Pediatric Plastic Surgery』
Pediatric Plastic Surgery, Johns Hopkins Hospital, USA
Richard Redett MD
- 【Memorial lecture】 第3日 4月11日(金)
司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫
『The Birth of Therapy with Cultured Cells』
Dept. of Cell Biology, Harvard Medical School, USA
Howard Green MD

- 【Young investigator lecture】 第1日 4月9日(水)
 司会 東京大学形成外科 光嶋 勲
 『Radiographic Anatomical Study of the Lymphatic System
 -Echoes from the past and prospective clinical implications.-』
 Dept. of Anatomy and Cell Biology, University of Melbourne, Australia
 須網 博夫
- 【Young investigator lecture】 第2日 4月10日(木)
 司会 北海道大学形成外科 山本 有平
 『Historical and Contemporary Perspectives on Plastic Surgery Training
 in the United States』
 Pediatric Plastic Surgery, Johns Hopkins Hospital, USA
 Richard Redett MD
- 【教育講演】 第2日 4月10日(木)
 司会 神戸大学形成外科 田原 真也
 『新時代のマイクロサージャリー』
 東京大学形成外科 光嶋 勲
- 【教育講演】 第3日 4月11日(金)
 司会 日本医科大学形成外科 百束 比古
 『患者が満足する眼瞼下垂手術』
 蘇春堂形成外科 野平久仁彦
- 【教育講演】 第3日 4月11日(金)
 司会 京都大学形成外科 鈴木 茂彦
 『皮膚悪性腫瘍の治療戦略』
 徳島大学形成外科 中西 秀樹
- 【教育講演】 第3日 4月11日(金)
 司会 東京医科歯科大学形成外科 秦 維郎
 『編集委員長が教える論文投稿のコツ』
 大阪大学形成外科 細川 亙
- 【シンポジウム】 第1日 4月9日(水)
 『広範囲顔面欠損の再建』
 司会 金沢医科大学形成外科 川上 重彦
 東邦大学形成外科 丸山 優
- S -1 当科における顔面再建法の変遷と工夫～過去20年間の経験より～
 北海道大学形成外科 古川 洋志
- S -2 広範囲顔面再建における Aesthetic Unit の概念
 東京女子医科大学形成外科 櫻井 裕之
- S -3 上顎洞癌切除後の皮膚を含めた広範囲顔面欠損に対する整容的再建法
 久留米大学形成外科・顎顔面外科 山内 俊彦
- S -4 インプラント支持性エピテーゼによる広範囲顔面欠損再建の長期成績
 東海大学形成外科 赤松 正
- S -5 腫瘍切除後の顔面広範囲欠損に対するわれわれの治療戦略
 福島県立医科大学形成外科 梶川 明義
- S -6 顔面上顎広範囲複合欠損に対する内胸動脈複合皮弁の応用
 愛知医科大学形成外科 竹市 夢二

【シンポジウム】 第2日 4月10日(木)

『機能面を考慮した頭頸部再建』

- | | | | |
|------|---|------------------|-------|
| | | 司会 岡山大学形成再建外科 | 木股 敬裕 |
| | | 久留米大学形成外科 | 清川 兼輔 |
| S -1 | 喉頭部分切除症例における喉頭機能温存の工夫 | 京都大学形成外科 | 山脇 聖子 |
| S -2 | 喉頭・下咽頭癌に対する、喉頭機能を温存した
下咽頭・喉頭部分切除後の再建 | 杏林大学形成外科 | 岡崎 睦 |
| S -3 | どうすれば筋皮弁の術後筋体量を維持できるか
：術後機能の良い頭頸部再建を目指す translational approach | 神戸大学形成外科 | 橋川 和信 |
| S -4 | Bare Bone Graft 法による咬合機能温存下顎再建術 | 自治医科大学形成外科 | 去川 俊二 |
| S -5 | 機能面を考慮した舌再建 | 名古屋大学形成外科 | 八木俊路朗 |
| S -6 | 舌根部を含む中咽頭切除後再建のための
Oropharyngeal Universal Design | 鳥取大学形成外科 | 中山 敏 |
| S -7 | 中咽頭上側壁再建手術と術後機能 | 静岡県立静岡がんセンター形成外科 | 成田 圭吾 |
| S -8 | インプラント義歯装着を目指した下顎再建 | 長崎大学形成外科 | 田中 克己 |

【シンポジウム】 第3日 4月11日(金)

『血管奇形の治療戦略』

- | | | | |
|------|---|--------------|-------|
| | | 司会 北海道大学形成外科 | 佐々木 了 |
| | | 愛知医科大学形成外科 | 横尾 和久 |
| S -1 | 血管奇形治療におけるエコーガイド下フォーム硬化療法の意義
- Low flow type の血管奇形を中心に - | 東京女子医科大学形成外科 | 八巻 隆 |
| S -2 | 塞栓術と切除再建術を併用した顔面動静脈奇形の治療 | 愛知医科大学形成外科 | 横尾 和久 |
| S -3 | 当科における血管奇形治療例の検討 | 長崎大学形成外科 | 秋田 定伯 |
| S -4 | 当科における動静脈奇形(AVM)の治療方針
：特に小児期早期手術の是非について | 杏林大学形成外科 | 尾崎 峰 |
| S -5 | AVMの外科的治療戦略
- 選択的塞栓療法の併用による広範切除の有用性 - | 福岡大学形成外科 | 牧野 太郎 |
| S -6 | Extensive Vascular Malformation に対する治療戦略 | 北海道大学形成外科 | 佐々木 了 |
| S -7 | 当科におけるVM難治例の治療成績 | 東京大学形成外科 | 成島 三長 |

- S 8 血管奇形に対する我々の治療戦略
 - 硬化療法、塞栓療法と手術の治療法選択アルゴリズム -
 久留米大学形成外科・顎顔面外科 渡部 功一

【パネルディスカッション】 第1日 4月9日(水)

『アンチエイジングにおける形成外科の役割』

- 司会 北里大学形成外科 内沼 栄樹
 昭和大学形成外科 保阪 善昭
- P -1 アンチエイジングにおけるレーザー治療の役割
 林形成外科クリニック、北陸メディカルレーザー研究所 林 洋司
- P -2 アンチエイジングにおける上眼瞼形成術の役割
 北海道大学形成外科 山本 有平
- P -3 国立大学病院における美容外科の開設における課題
 神戸大学形成外科 一瀬 晃洋
- P -4 アンチエイジングにおける形成外科の役割
 「当科における低侵襲治療への挑戦」
 東京女子医科大学形成外科 河野 太郎
- P -5 アンチエイジング医療における脂肪注入術の有用性
 いちだクリニック 市田 正成
- P -6 見た目のアンチエイジングにおける皮膚科、歯科との連携
 福岡大学形成外科 衛藤 明子
- P -7 下眼瞼若返り治療におけるわれわれのストラテジーについて
 埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 百澤 明

【パネルディスカッション】 第2日 4月10日(木)

『創傷治癒センターの目指すもの』

- 司会 東北大学形成外科 館 正弘
 神戸大学形成外科 寺師 浩人
- P -1 当院の創傷治療センターで進めている難治性潰瘍
 ・褥瘡に対する治療体系と医療体系
 医誠会病院形成・美容外科創傷治療センター 福田 智
- P -2 大学病院における創傷治癒・再生センターの取り組み
 埼玉医科大学形成外科 市岡 滋
- P -3 創傷治療センターの目指すもの
 - 心臓血管センターにおける重症虚血肢治療の経験から -
 川崎市立多摩病院形成外科 松崎 恭一
- P -4 当センターにおける創傷治療の現状と展望
 ~循環器センターとのcollaborationを中心に~
 時計台記念病院形成外科・創傷治療センター 内山 英祐
- P -5 創内持続陰圧洗浄療法による感染創、難治性潰瘍の早期治癒
 - 創傷治療センター設立における本法の有用性 -
 久留米大学形成外科・顎顔面外科 守永 圭吾
- P -6 新須磨病院創傷治療センターにおける難治性下肢潰瘍への取り組み
 - 歩行可能な足を温存する -
 新須磨病院形成外科・創傷治療センター 辻 依子

【パネルディスカッション】 第3日 4月11日(金)

『マイクロ手術手技のコツとピットホール』

- | | | | |
|------|---|-----------------|-------|
| | | 司会 日本大学形成外科 | 佐々木健司 |
| | | 埼玉医科大学形成外科 | 中塚 貴志 |
| P -1 | MDC Tは穿通枝皮弁のブレイクスルーと成りえるか？
- 術前プランニングのコツとピットホール - | | |
| | | 東京大学形成外科・美容外科 | 三原 誠 |
| P -2 | 頭頸部 free flap 再建後の内頸静脈血栓症による吻合静脈閉塞
- 頭頸部血管吻合におけるピットホール - | | |
| | | 神戸大学形成外科 | 橋川 和信 |
| P -3 | Microdissection 手技のコツとピットホール | | |
| | | 昭和大学藤が丘形成外科 | 木村 直弘 |
| P -4 | 食道再建におけるマイクロ手術手技のポイント | | |
| | | 久留米大学形成外科・顎顔面外科 | 井上要二郎 |
| P -5 | マイクロ手術手技のコツとピットホール
- 過去11年の経験よりピットホールへの対策について - | | |
| | | 北海道大学形成外科 | 関堂 充 |
| P -6 | 静脈移植の問題点の解決：
外側大腿動脈下行枝と伴行静脈の vascular graft としての利用 | | |
| | | 香川大学形成外科 | 田中 嘉雄 |
| P -7 | The secret of success in microsurgery | | |
| | | 名古屋大学形成外科 | 亀井 讓 |

(2) 第17回日本形成外科学会基礎学術集会

会期：平成20年10月2日(木) 3日(金)

会場：リーガロイヤルホテル東京(東京)

会長：百束 比古 日本医科大学大学院医学研究科形態機能再生再建医学教授
下記の招待講演、特別講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッション
の他、研究発表が行われた。

【招待講演1】 第1日 10月2日(木)

- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|-----------------|
| | | 司会 京都大学形成外科 | 鈴木 茂彦 |
| | | | |
| | | President, Cytori Therapeutics, Inc. | Marc H. Hedrick |

【招待講演2】 第2日 10月3日(金)

- | | | | |
|--|--|----------------|-------|
| | | 司会 北海道大学形成外科 | 山本 有平 |
| | | | |
| | | 南方医科大学整形外科主任教授 | 高 建華 |

【特別講演1】 第1日 10月2日(木)

- | | | | |
|--|--|--------------------------------------|-------|
| | | 司会 東京女子医科大学形成外科 | 野崎 幹弘 |
| | | | |
| | | 日本医科大学名誉教授、
メデカジャパン・ラボラトリー総合研究所所長 | 大國 壽 |

【特別講演2】 第2日 10月3日(金)

- | | | | |
|--|--|--------------------|-------|
| | | 司会 杏林大学大学形成外科・美容外科 | 波利井清紀 |
|--|--|--------------------|-------|

『発想の転換で、不可能を可能に！』

東海大学教育開発研究所所長, 東海大学理学部研究科教授
秋山 仁

【教育講演】 第2日 10月3日(金)

司会 川崎医科大学形成外科・美容外科 森口 隆彦

『マルチスライスCTを用いた細径動脈の描出：
形成外科領域における治療支援画像としての可能性』

日本医科大学放射線医学准教授 林 宏光

【シンポジウム】 第1日 10月2日(木)

『再生医学：From Bench to Bedside』

司会 聖マリアンナ医科大学形成外科 熊谷 憲夫

東京大学顎口腔外科・歯科矯正歯科 高戸 毅

S -1 ヒト培養細胞を用いた毛包再生へのストラテジー

東京大学形成外科・美容外科 井上 啓太

S -2 ヒト頭皮由来無細胞真皮作製

神戸大学形成外科 寺師 浩人

S -3 骨・軟骨組織の再生誘導。現状と今後の展開

近畿大学形成外科 磯貝 典孝

S -4 自家培養真皮の正式許可を目指しての問題点の解決及び
臨床試験プロトコル

京都大学形成外科 森本 尚樹

S -5 表皮細胞・軟骨細胞・線維芽細胞の臨床応用

矢永クリニック・組織再生研究所 矢永 博子

S -6 自家骨髄間質細胞を用いた脊髄損傷に対する再生治療の現状

田附興風会医学研究所北野病院 鈴木 義久

S -7 再生医療の実用化に向けて - ビジネスの視点から

(株)野村総合研究所 社会システムコンサルティング部 梅原 郁恵

【シンポジウム】 第2日 10月3日(金)

『皮弁外科における微小血管解剖』

司会 名古屋大学形成外科 鳥居 修平

神戸大学形成外科 田原 真也

S -1 皮弁外科における微小血管解剖 - 新鮮死体と3DC T血管造影に
おける choke vessel と vascular territory の検討

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 三鍋 俊春

S -2 微小血管造影による皮弁の三次元的血行形態の解析と
新しい angiosome 理論

久留米大学形成外科・顎顔面外科 渡部 功一

S -3 皮膚皮下組織の動静脈解剖

皮弁作成において動脈、静脈どちらが重要？

慶應義塾大学解剖学 今西 宣晶

S -4 形成外科領域における Multi Detector-row CT(MDCT)の可能性
- 皮弁の微小血管解剖の解明に向けて -

日本医科大学形成外科 小野 真平

【パネルディスカッション】 第1日 10月2日(木)

『創傷治癒における分子生物学』

		司会	帝京大学形成外科 金沢医科大学形成外科	平林 慎一 川上 重彦
PD -1	マウス胎仔の皮膚再生を制御する分子		慶應義塾大学形成外科	貴志 和生
PD -2	創傷治癒過程の molecular modulation		長崎大学形成外科	秋田 定伯
PD -3	創傷治癒における HGF の作用と発現調整メカニズムの解明		東京大学形成外科・美容外科	菅 浩隆
PD -4	創傷治癒と神経再生 - 神経突起は皮膚線維芽細胞を 筋線維芽細胞へ分化誘導し創収縮を促進する -		大阪大学形成外科	藤原 敏宏
PD -5	smooth muscle actin 発現が語る創傷治癒・難治性潰瘍の病態		北海道大学形成外科	小浦場祥夫

【パネルディスカッション】 第2日 10月2日(木)

『海外留学の意義』

		司会	近畿大学形成外科 日本医科大学形成外科	磯貝 典孝 水野 博司
PD -1	海外留学の意義：メルボルンでの経験		埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科	三鍋 俊春
PD -2	サンタモニカの風はいつも西から		長崎大学形成外科	秋田 定伯
PD -3	海外留学の意義		近畿大学形成外科	磯貝 典孝
PD -4	海外留学の意義		慶應義塾大学形成外科	貴志 和生
PD -5	フランスでの stem cell research(1997-2001)		国立病院機構熊本医療センター形成外科	大島 秀男
PD -6	海外留学から一番得たもの		日本医科大学形成外科	水野 博司
PD -7	海外留学の意義		藤田保健衛生大学形成外科	坂井 靖夫
PD -8	海外留学の意義 - ハーバード大学 マサチューセッツ総合病院形成外科留学を振り返って -		大阪大学形成外科	久保 盾貴
PD -9	海外留学の意義		東海大学形成外科	田中 里佳
PD -10	海外留学の意義		日本医科大学形成外科	小川 令

【パネルディスカッション】 第2日 10月3日(金)

『美容外科を支える基礎医学』

	司会	千葉大学形成外科 北里大学形成外科・美容外科	一瀬 正治 内沼 栄樹
--	----	---------------------------	----------------

- PD -1 無血清での培養線維芽細胞の検討
～安全な培養細胞注入を目指して～
神戸大学形成外科 江尻 浩隆
- PD -2 白血球含有多血小板血漿(W-P R P)と
b F G F 添加白血球含有多血小板血漿による組織再生に関する検討
医療法人社団貴順会吉川病院美容皮膚形成 川添 剛
- PD -3 吸引脂肪組織の構造と細胞組成 - 正常脂肪組織との比較分析
東京大学形成外科・美容外科 江藤ひとみ
- PD -4 三次元形状計測装置を用いた老人性眼瞼下垂患者の
手術前後における顔面形態変化の評価
福岡大学形成外科 西平 智和
- PD -5 N M R 技術を活用した美容外科後遺症における E B M の実践
日本医科大学 N M R 研究施設 平川 慶子

【パネルディスカッション】 第2日 10月3日(金)

『基礎研究のためのハイテクツール』

- 司会 福島県立医科大学形成外科 上田 和毅
日本医科大学付属千葉北総病院形成外科 秋元 正宇
- PD -1 スーパーマイクロサージャリーの基礎研究応用と、その大いなる可能性
～小児癌患者のQ O L 向上を目指して～
東京大学形成外科・美容外科 三原 誠
- PD -2 マルチスライスC Tを用いた動脈穿通枝の描出
日本医科大学放射線医学 林 宏光
- PD -3 バイオメカ的視点からとらえる形成外科
- 慶應義塾大学形成外科における試み
慶應義塾大学形成外科 永竿 智久
- PD -4 有限要素法による皮膚、軟部組織のシミュレーションと構造解析
～パソコン上の実験室～
日本医科大学千葉北総病院形成外科 秋元 正宇
- PD -5 神経系細胞特異的蛍光マウスを用いた損傷後末梢神経再生動態の解析
大阪大学形成外科 富田 興一
- PD -6 レーザーマイクロダイセクション法による組織内選択的遺伝子発現解析
東京大学形成外科・美容外科 江藤ひとみ
- PD -7 マルチカラーフローサイトメトリーを用いた細胞の分析と
特定細胞集団のソーティング
東京大学形成外科・美容外科 井上 啓太

(3) 日本形成外科学会誌を編集・発行した。

第28巻	2号	平成20年	2月	62頁	4,300部
第28巻	3号	平成20年	3月	92頁	4,350部
第28巻	4号	平成20年	4月	70頁	4,400部
第28巻	5号	平成20年	5月	66頁	4,400部
第28巻	6号	平成20年	6月	70頁	4,400部
第28巻	7号	平成20年	7月	67頁	4,400部
第28巻	8号	平成20年	8月	57頁	4,450部
第28巻	9号	平成20年	9月	74頁	4,400部
第28巻	10号	平成20年	10月	51頁	4,400部

第28巻11号	平成20年11月	66頁	4,420部
第28巻12号	平成20年12月	75頁	4,420部
第29巻1号	平成21年1月	64頁	4,430部

(4) Scandinavian Journal of Plastic and Reconstructive Surgery and Hand Surgery を発行した。

第42巻1号	平成20年4月	56頁	4,100部
第42巻2号	平成20年6月	56頁	4,100部
第42巻3号	平成20年8月	56頁	4,100部
第42巻4号	平成20年10月	56頁	4,150部
第42巻5号	平成20年12月	56頁	4,150部
第42巻6号	平成21年2月	56頁	4,150部

(5) 春季学術研修会及び秋季学術講習会を下記のとおり開催した。

1. 春季学術研修会

日 時；平成20年4月8日(火)午後1時00分～午後5時00分
 会 場；名古屋マリオットアソシアホテル 16F 『タワーズボールルーム』
 テーマ1；“ 癬痕・癬痕拘縮・ケロイド ”

題目および講師

- 1) 癬痕・癬痕拘縮・ケロイドの病態
長崎大学形成外科 秋田 定伯
- 2) 癬痕拘縮の外科的治療
昭和大学藤が丘病院形成外科 木村 直弘
- 3) ケロイドの診断と治療
日本医科大学武蔵小杉病院形成外科 土佐眞美子
- 4) ケロイドの放射線治療
日本医科大学放射線治療科 宮下 次廣

テーマ2；“ 医療安全 ”

- 5) 組織人として関わる医療安全 診療科特性と院内横断的活動
名古屋大学医療の質・安全管理部 相馬 孝博

2. 秋季学術講習会

日 時；平成20年10月1日(水)午後1時00分～午後5時00分
 会 場；リーガロイヤルホテル東京 3F 『ロイヤルホール』
 テーマ1；“ 唇裂・口蓋裂 ”

題目および講師

- 1) 唇裂
川崎医科大学形成外科 岡 博昭
- 2) 口蓋裂
函館中央病院形成外科 木村 中
- 3) 歯科矯正治療
東北大学顎口腔機能治療部 幸地 省子
- 4) 言語治療
北海道医療大学心理学部言語聴覚療法学科 西澤 典子

テーマ2；“ 医療安全 ”

- 5) 医療安全のためのIT活用、患者参加、教育研修
国立成育医療センター医療情報室 山野辺裕二

(6) 日本形成外科学会専門医の審査を専門医認定委員会において行った。

平成20年度専門医合格者氏名(受付順敬称略)

平沢 千尋	太田 智之	雑賀 厚臣	足立 孝二	荒尾 直樹
安村 恒央	加地 竜士	柴田 知義	入谷 哲司	小西 和人
金田 藤香	新井孝志郎	田浦 夏希	市川 広太	平田 佳史
佐藤 伸弘	冨塚 陽介	鈴木 理央	稲見 浩平	中里 公亮
丹羽 幸司	坂本 道治	大谷 秀和	櫻井 梨江	岡本 仁
飛田 晶	平野 由美	青井 則之	熊澤 憲一	羽多野隆治
松末 武雄	小栗 章子	檜村 勉	大山 文乾	三宅 省吾
宮本 純平	佐藤 典子	石川 心介	原田 美穂	高木 信介
秋田 新介	久保 一人	井上 啓太	服部 典子	伴 緑也
森田 勝	市川 明子	三上 誠	田中 永紅	柏谷 元
山口亜佐子	井内 友美	矢野 智之	渡部 聡子	三島 吉登
館 一史	中村 陽子	新妻 克宜	増口 信一	菅野 百合
小澤 剛	谷川 知子	矢加部 文	牧口 貴哉	青木 雅代
宮本 英子	佐藤 英	村松 英俊	酒井 新介	成瀬 栄美
覚道奈津子	工藤 勝秀	森本 訓行	遠所 瑞拡	阪場 貴夫
林田 健志	吉嶺 倫子	大橋 正和	南村 愛	一氏 俊世
石田 創士	小松竜太郎	五石 圭一	伏見 知浩	成田 圭吾
武田 孝輔	田中顕太郎	工藤 宏之	原田 雅奈	長西 裕樹
八木俊路朗	苅部 大輔	岸川 由佳	荒川 篤宏	
加藤 幸也	伊藤 恵美	渡邊 敏之	牧野 太郎	
奥村 誠子	高津 州雄	宮田 美穂	深澤 大樹	
王丸 陽光	吉田 行貴	井口 有子	松本 洋	
中森 大記	藤井 俊史	岡田真衣子	小松 星児	

合計 110名(応募者 138名)

(7) 日本形成外科学会認定施設の審査を認定施設認定委員会において行った。

平成21年度新認定施設名

【地区】	【施設名】	【登録番号】
北海道	砂川市立病院形成外科	09-1022-000
	医療法人溪仁会手稲溪仁会病院形成外科	09-1023-000
	市立室蘭総合病院形成外科	09-1024-000
東北	日本海総合病院形成外科	09-2027-000
	山形県立新庄病院形成外科	09-2028-000
	(財)脳神経疾患研究所附属総合南東北病院形成外科	09-2029-000
関東	横須賀共済病院形成外科	09-3118-000
	東京歯科大学市川総合病院形成外科	09-3119-000
中部	豊田厚生病院形成外科	09-5071-000
	静岡済生会総合病院形成外科	09-5072-000
関西	高槻赤十字病院形成外科	09-6073-000
	医療法人彩樹守口敬任会病院形成外科	09-6074-000
	宝塚市立病院形成外科	09-6075-000
	三世会河内総合病院形成外科	09-6076-000

中国・四国	日本赤十字社和歌山医療センター形成外科	09-6077-000
	独立行政法人国立病院機構岡山医療センター形成外科	09-7039-000
九州	松山市民病院形成外科	09-7040-000
	国立病院機構熊本医療センター形成外科	09-8056-000
	天心堂へつぎ病院形成外科	09-8057-000
	豊見城中央病院形成外科	09-8058-000

(8) 日本形成外科学会専門医更新を専門医生涯教育委員会において行った。

A) 平成21年度専門医更新者氏名(順不同敬称略)

青山 久	鬼塚 卓弥	古泉 佳男	島中 弘輔	柳橋 亘
安藤 正英	栗原 邦弘	身原 弘哉	飯島 三佳	岡田 忠彦
大城 俊夫	杉原 平樹	伊能 和彦	森 文子	宮永 章一
大塚 壽	谷野隆三郎	今澤 隆	黒田 正義	鳥居 修平
大森喜太郎	塚田 貞夫	白壁 理志	谷 祐子	関口 順輔
小野 繁	秦 維郎	加藤 剛志	田中 真輔	加藤 至
倉田 利威	原科 孝雄	松本 文昭	三上 太郎	芳賀 盛
心石 隆敏	波利井清紀	清水 サラ	藤原 貴史	酒井 成身
佐々木富美子	藤井 徹	池田 欣生	佐藤克二郎	井上 邦雄
清水 元雄	梁井 皎	矢野 浩規	朝村 真一	河野 稔彦
白壁 征夫	坂井 靖夫	華山 博美	野町 健	小野 一郎
新富 芳尚	高木 誠司	宇田 宏一	片桐 順和	高須 克弥
鈴木 康治	脇田 進一	松尾 伸二	真鍋 幸嗣	長谷田泰男
龍見 良隆	峯岸 祐之	永松 将吾	漆館 聡志	高柳 進
土田 幸英	今井 啓道	野田 理香	岡 敏行	宮本 博子
中井 啓裕	菊地 憲明	川崎 裕史	山田 信幸	宮本 義洋
中山 凱夫	山本真寿美	石丸さやか	饗庭(小島)恵美子	黒住 望
奈良崎保男	増田 竜児	越川 真理	山脇 聖子	吉村 陽子
野本 晴仁	林 利彦	宮里 修	石原 博史	新橋 武
林 道義	百澤 明	陳 建穎	松島 貴志	佐野 豊
藤田 浄秀	依田 拓之	星野 恭子	佐々木晴恵	鳥飼 勝行
藤山 忠昭	芳田 辰也	宇井 啓人	伊東 大	安田 幸雄
本田 耕一	竹本 剛司	岩城 啓修	梶谷 正子	金原 憲治
森口 隆彦	岡野 純子	力久 直昭	近藤奈穂子	長野 哲也
山下 眞彦	増井 裕子	小林 貴	保阪 善昭	角谷 徳芳
吉次 興茲	伊木 秀郎	糸井由里恵	村岡 道德	毛山 章
若松 信吾	安井 浩司	福島 淳一	高田 裕子	寺内 雅美
渡部 純至	望月 靖史	中田 元子	湊 祐廣	百束 比古
一瀬 正治	藤原 雅雄	木下 浩二	丸山 優	古賀 雄二
小川 豊	花垣 博史	千明 美保	山本 正樹	熊谷 憲夫
長田 光博	松尾あおい	東 隆一	和田 秀敏	古川 晴海

前田 求	小住 和徳	高山 正三	三嶋 修	井上 普文
吉田 哲憲	並木 保憲	佐久間英夫	佐々木克己	平瀬 雄一
鶴切 一三	石倉 直敬	岩波 正陽	大塚 守正	柏 尚裕
緒方 茂寛	坂井 重信	上田 和毅	高橋 博和	西野 冽子
中西 秀樹	奥田 良三	大岩 彰	有馬 美則	井川 浩晴
今里賢一郎	高戸 毅	福屋 安彦	野瀬 謙介	田中 一郎
川上 重彦	橋本 二郎	大慈弥裕之	秋月 種高	仲沢 弘明
佐藤 兼重	行徳 博英	西村 剛三	岩澤 幹直	寄藤 和彦
松田 和美	三好 謙次	本多 朋仁	林 祐司	金子 剛
内沼 栄樹	平野 明喜	深水 秀一	楠見 彰	永井 秀史
菅又 章	村上 隆一	田中 博	佐々木伊津美	佐藤 和夫
桐生 迪介	石井 昌博	櫻井 淳	井砂 司	大谷津恭之
喜多 孝志	友成 博	金子 裕一	早稻田豊美	遠藤 隆志
門脇 哲郎	松尾 清	高橋 信行	山崎 民雅	上地 貴
浜中 孝臣	國重 義文	曾根 清昭	後藤 昌子	石井 徹
黒川 雅博	岡部 勝行	内田 満	堀 茂	長江 浩朗
浅田 一仁	大谷 和雄	大西 清	青山 亮介	金 栄吉
赤尾 明俊	平林 慎一	田中 直樹	菱田 康男	黒川 正人
梅田 整	西村 正樹	藤川 昌和	大竹 尚之	西井貴美子
置塩 良政	宮坂 宗男	渡辺 信介	松井 厚雄	崎戸 徹
増沢 源造	征矢野進一	本宮 由貴	野本 猛美	古川 雅司
田村 昇	中塚 貴志	林 洋司	佐伯 典道	塚越 卓
鈴木 茂彦	高田 章好	楠本 健司	谷田 泰男	吉田 太
久保田潤一郎	迎 伸彦	茂木 定之	中岡 啓喜	吉川 厚重
舩津 天生	佐野新一郎	四宮 茂	許田 和義	桂木 昌子
野平久仁彦	細川 互	岡 博昭	林 雅裕	石田 敏博
佐々木健司	出口 正巳	河村 進	高木 正	近藤 方彰
佐伯 英明	本庄 省五	田中 保	斉藤 浩	倉富 英治
神保 好夫	小林誠一郎	櫻井 伴子	犬塚 潔	西巻 啓子
宇田川晃一	井上 健夫	中島 洋子	吉永裕一郎	岩平 佳子
梶 彰吾	永瀬 洋	白土 基次	佐藤 佳世	木股 敬裕
最所 裕司	木村 正	古山 登隆	川本 潔	神谷 則昭
伊藤 芳憲	今村 英一	小倉 猛	安藤 和正	矢野 健二
寺島左和子	石川 修一	佐野 徹	中野 峰生	田中 克己
中村 潔	今井 孝行	松田 和也	中北 信昭	木村 中
小椋 哲実	草山ほづえ	阿部浩一郎	皆川 浩	山本 有平
横尾 和久	西野 健一	石田 知良	安富 義哲	政田 佳子
吉本 信也	松本 吉郎	滝 正	平川 正彦	巖 文哉
原口 和久	坂口 修平	三浦 隆男	林 れい子	鶴田 純二
勝又 肇	田原 真也	吉方 りえ	守屋 修二	永尾 光一
安藤晋一郎	大久保文雄	杉野 宏子	重原 岳雄	朝戸 裕貴
黄金井康巳	本間 賢一	松林 薫美	安 成烈	野瀬 京子

鈴木 晴恵	池田 弘人	伊東 優	原田 和朋	上林 淑人
今井 啓介	米原 啓之	戸田 則之	赤井 秀実	野村 智史
中西 雄二	田中恵美子	宇佐美泰徳	戸島 康晴	片岡 和哉
柏 克彦	牧野 久美	宮島 哲	竹下由美子	佐藤 明男
平 通也	佐藤 実	相原 正記	山脇 吉朗	宮田 剛治
鈴木 偉彦	新垣 実	加藤 武男	高見 佳宏	谷口 靖
山本 喜英	酒井 倫明	赤松 順	高松 亜子	小宗 弘幸
清水 祐紀	天野 照仁	沢村 武	多久嶋美紀	西端 和哉
小野 陽子	北原 正樹	松浦慎太郎	北野 幸恵	山本 博
末武 茂樹	大久保栄治	辻口幸之助	脇坂 長興	山本眞由美
太田 勝哉	小屋 和子	岡村 俊哉	緒方 寿夫	赤松 正
河田 牧男	安田 浩	今野 宗昭	宮田 成章	相原 英雄
戸佐 真弓	平井 隆	小藺喜久夫	中野 憲一	大崎 政海
本田 隆司	高野 邦雄	江藤 久志	岡崎 睦	黒木 知明
菊池 雄二	梶 ひろみ	小坂 義樹	庄野 佳孝	大宮 由香
伊沢 宏和	蛭原 啓文	新城 憲	青木 尚子	石川 浩一
矢永 博子	影山 広美	原口 彰	金山 岳夫	早川 宏司
村上富美子	袖井 文二	上田 晃一	樋口 浩文	春成 伸之
鈴木 芳郎	中村 元信	津田 邦義	武田 昇	安楽 邦明
谷平 茂	上田 吉生	梅田 直人	設楽 幸伸	原 順子
鳴海 篤志	青木 文彦	前島 精治	大槻 真澄	柳澤 明宏
佐藤 薫	白崎 祥晃	田中 均	渋谷 博美	田崎 幸博
米田 敬	鈴木 敏彦	伴 政雄	宮下 哲	加茂 理英
波床 光男	武田 啓	阪口 昌子	山野 雅弘	神沢 敏
古田 文隆	前田 健志	藤田 祐子	松田 秀則	村下 一晃
松永 芳章	川嶋 邦裕	山田 孝一	桜庭 実	今井 由典
小林 一夫	岩崎 秀樹	栗原 卓也	郡司 裕則	石垣 剛正
田中 伸二	辰巳 英章	今西 宣晶	中川 達裕	滝 建志

以上504名(申請者561名)

B) 日本形成外科学会専門医生涯教育制度細則第11条並びに専門医制度細則第29条第4項により専門医資格を取り消される者 (順不同敬称略)
該当者なし

(9) 平成21年度評議員選挙を行った。

平成21年度評議員選挙管理委員会

委員長：大木更一郎

副委員長：内田源太郎

委員：磯野 伸雄 大浦 紀彦 門松 香一 清水 雄介
 林 礼人 深谷 佳孝 森 弘樹

予備委員：荻野 晶弘 鈴木 康俊 高橋 範夫

計5回の委員会を開催し、定款並びに評議員選挙施行細則に基づき選挙を行った。開票の結果、下記150名の新評議員を決定した。

【北海道・東北支部（定数14名）】

阿部 清秀、飯田 直成、今井 啓道、上田 和毅、木村 中、小林誠一郎
館 正弘、野平久仁彦、福屋 安彦、湊 祐廣、山本 有平、横井 克憲
吉田 哲憲、四ツ柳高敏

【関東支部（定数67名）】

赤松 正、秋月 種高、秋元 正宇、朝戸 裕貴、井砂 司、市岡 滋
岩波 正陽、岩平 佳子、宇田川晃一、内田 満、内沼 栄樹、梅田 整
大久保文雄、大城 貴史、大竹 尚之、大塚 尚治、大西 清、荻野 浩希
加王 文祥、金子 剛、菊池 雄二、貴志 和生、清澤 智晴、熊谷 憲夫
倉片 優、光嶋 勲、小室 裕造、酒井 成身、桜井 裕之、佐々木健司
佐藤 兼重、柴田 実、清水 祐紀、菅又 章、菅原 康志、角谷 徳芳
瀬崎晃一郎、多久嶋亮彦、武田 啓、田中 一郎、富樫 真二、土佐 泰祥
鳥飼 勝行、永竿 智久、仲沢 弘明、中塚 貴志、二ノ宮邦稔、百束 比古
平林 慎一、福積 聡、保阪 善昭、本田 隆司、前川 二郎、増沢 源造
松浦慎太郎、松村 一、丸山 優、水野 博司、三鍋 俊春、宮坂 宗男
宮脇 剛司、村上 正洋、山崎 明久、吉村浩太郎、吉本 信也、米原 啓之
渡辺 克益

【中部支部（定数16名）】

浅井真太郎、岩澤 幹直、亀井 讓、川上 重彦、岸邊 美幸、島田 賢一
鳥山 和宏、中束 和彦、深水 秀一、朴 修三、松尾 清、山元 康徳
杠 俊介、横尾 和久、吉村 陽子、米田 敬

【関西支部（定数26名）】

石川 浩三、磯貝 典孝、今井 啓介、上田 晃一、上田 吉生、垣淵 正男
河合 勝也、久徳 茂雄、楠本 健司、久保 盾貴、桑原 理充、鈴木 健司
鈴木 茂彦、高田 章好、田原 真也、寺師 浩人、土井 秀明、内藤 浩
中原 実、西野 健一、西本 聡、野瀬 謙介、橋川 和信、細川 互
吉岡 伸高、若見 暁樹

【中国・四国支部（定数12名）】

青木 久尚、稲川 喜一、岡 博昭、木村 得尚、毛山 章、小林 一夫
田中 嘉雄、中岡 啓喜、中西 秀樹、橋本 一郎、宮本 義洋、村上 隆一

【九州支部（定数15名）】

秋田 定伯、石田 有宏、井上要二郎、上村 哲司、大慈弥裕之、清川 兼輔
小坂 正明、小園喜久夫、西村 剛三、橋本 裕之、平野 明喜、三川 信之
森岡 康祐、矢野 浩規、力丸 英明

(10) 各種委員会報告

1) 財務委員会

委員長：川上 重彦

委員：鳥居 修平、中塚 貴志、丸山 優、森口 隆彦

開催年月日：平成20年4月10日、及びメール委員会

主な議題：1. 平成20年度収支決算

2. 平成21年度予算案について

活動の概要：1. 平成20年度予算の執行において、委員会費の節約を各委員会委員長に文章で依頼した。

2. 平成20年度収支決算、平成21年度予算案について確認を行った。

2) 専門医認定委員会

委員長：中西 秀樹

担当理事：保阪 善昭

委員：朝戸 裕貴、磯貝 典孝、上田 晃一、大慈弥裕之、金子 剛、亀井 讓、光嶋 勲、佐々木健司、佐藤 兼重、武石 明精、館 正弘、百束 比古、宮坂 宗男、吉本 信也

開催年月日：平成20年 4月 9日 平成20年10月3日

平成20年11月29日 平成21年1月23日・24日

主な議題：1. 専門医申請者の資格審査

2. 専門医認定審査

3. その他

活動の概要：1. 専門医申請者138名に対し、平成20年11月29日にスクワール麹町にて提出書類による資格審査を行った。

2. 資格審査で問題がありとされた申請者からの弁明に対し、メール委員会を開き審査した。

3. 資格試験合格者136名に対し、平成21年1月23～24日にホテルニューオータニで筆記および口頭試問による試験を行った。

4. 専門医認定試験最終結果

専門医申請者：138名

書類審査不合格者：2名

筆記・口頭試問試験不合格者：25名

欠席：1名

専門医認定試験合格者：110名

5. 医療問題を1問出題した。また記述式問題を1問出題し、採点に加えないが、口頭試問の際の資料とした。

6. 手引きの文言について見直しをした。申請書類記入上の注意として、c)10症例 術後6ヶ月以上の写真を貼付していない

書類が多かったため、「13)皮膚移植は、採取皮膚の厚さ、採皮部の術後の状態が分かるように説明か写真を貼付して下さい。」を「13)皮膚移植(分層)は、採取皮膚の厚さ、採皮部の術後の状態が分かるように写真(術後6ヶ月以上)を貼付して下さい。」に変更する。

7. 平成22年度専門医試験(書類申請締切は平成22年11月、筆記試験は平成23年1月)について検討を行った。

3) 専門医生涯教育委員会

委員長：吉村 陽子

委員：秋元 正宇、阿部 清秀、一瀬 正治、今井 啓介、上田 和毅
大久保文雄、菊池 雄二、楠本 健司、小林 一夫、仲沢 弘明
中束 和彦、湊 祐廣、吉村浩太郎

開催年月日：平成20年4月10日

平成21年2月7日(更新審査委員会)その他適宜メール委員会

- 主な議題：
1. 平成20年度更新審査後の異議申し立て結果について
 2. 専門医更新辞退者の扱いについて
 3. 専門医認定証返却に対する受領書発行について
 4. 平成21年度更新手引書の確認について
 5. 理事会よりの諮問について
 6. 平成21年度専門医資格更新審査
 7. 委員会承認の関連学会・研修会等の更新審査
 8. 委員会承認の学術集会・研修会の申請について
 9. 免除対象者について
 10. 今後の問題点について

- 活動の概要：
1. 平成20年度専門医資格更新結果については理事会の承認を得た内容を委員会として再確認した(すでに昨年の総会で報告済み)
 2. 専門医更新を辞退するという申し出のあった会員に対し事務局より何度も更新を促し心象を害された例があり、辞退の申し出はそのまま受理するよう事務局に確認した。
 3. 専門医認定証を返却された会員へ受領書を発行することを確認した。
 4. 平成21年度更新手引書に、学会・研修会の出席証明を貼付する用紙を追加した。
 5. 理事会からの諮問「関連領域の学会への入会を促進するため、入会を生涯教育点数として認めてはどうか」については、「入会しているだけで点数を与えるのには反対」と答申した。
 6. 平成21年度専門医更新審査結果
 - 1) 専門医資格更新審査の該当者は513名で、更新を承認

されたものは463名、書類不備により返却し異議を確認中のもの12名、留保4名、未提出37名、更新しない者1名、留保保留1名、留保却下2名、資格喪失する者0名であった。

2) 留保願いは7件あり、3名は留学、1名は南極昭和基地に派遣により1年の留保が認められた。他2名は点数不足あるいは学術集会出席回数不足により留保申請があったが、認められなかった。残る1名は両親の介護を理由に申請されたが、詳細の問い合わせに対し連絡が無かったため、留保を認めなかった。

3) 書類不備の12名は、2週間の異議申し立ての機会があることを明記し、書類を返却した。それに対し8名から点数の追加申請あり、更新を認めた。1名は次回更新の連絡あり。3名は反応なく更新を認めなかった。

7. 委員会承認の学術集会・研修会の更新審査について

平成3～13年(2回目の更新)と平成17年(1回目の更新)に承認されたものについて3年分のプログラム等を確認した。「岡山形成外科医会」「形成外科臨床会」「東海マイクロサージャリー研究会」「京都形成外科医会」「大阪形成外科医会」は年間の開催数を減らし、一回の演題発表数を増やすなど工夫するよう勧告することになった。

「日本褥瘡学会中国・四国地方会」については提出資料に不備があったため、2週間以内に再提出してもらい、再審査したところ問題なかったため承認した。

「大阪形成外科集談会」「四国マイクロサージャリー研究会」「兵庫県形成外科医会」は平成21年度より外れることになった。

8. 学術集会(研修会等)新規登録申請に対する審査について

学術集会、研修会の新規登録申込が7件あり、「Craniosynostosis 研究会」「International Confederation for Plastic Reconstructive and Aesthetic Surgery Asian Pacific Section」「日本創傷外科学会総会・学術集会」「瘢痕・ケロイド治療研究会」「日本手の外科学会春季教育研修会」「日本抗加齢医学会」「日本末梢神経学会学術集会」について承認した。「末梢神経を語る会」は演題数が少ないため却下された。

上記承認点数は以下のとおり。

「Craniosynostosis 研究会」「瘢痕・ケロイド治療研究会」「日本抗加齢医学会」は出席4点 演題発表筆頭者3点、共同演者2人まで1点

「日本末梢神経学会学術集会」は出席3点 演題発表筆頭者3点、共同演者2人まで1点

「日本創傷外科学会総会・学術集会」出席6点 演題発表筆頭者3点、共同演者2人まで1点

「日本手の外科学会春季教育研修会」出席4点

「International Confederation for Plastic Reconstructive and Aesthetic Surgery Asian Pacific Section」出席8点
演題発表筆頭者6点、共同演者2人まで2点

9. 免除対象者について

更新免除対象者48名のうち41名は申請を認めた。残る7名から未提出であったため、次回再度通知することにした。

10. 今後の問題点

論文提出の場合、別刷の表紙のコピーだけではなく、別刷を提出してもらうことにした。また関連著書の場合もできればその著書自体を提出してもらう。

生涯基準点数表に載っていない他の学会誌への論文についても点数が認められるようにするため、「その他の学術雑誌：筆頭8点、共同2点」を新設し、その場合は「論文」と「投稿規程」を提出し審査することにした。

日本医師会生涯教育講座としての点数申請は、地域によって氏名のないシールであったり、年度ごとの参加証であったり、また氏名のはいらない参加証であったりと統一されていないため審査が困難である。今後は日本医師会生涯教育講座については認めない方向で理事会に検討いただくことになった。

ほとんどの申請者が提出書類を指定用紙に貼付し申請したため書類は確認しやすかったが、指定用紙1枚にまとめなければならないと解釈されたため、日程等が不明になるなどの不備が目立った。次回はその点を誤解のないよう手引きに記載することにした。

参加章の紛失のため、学会プログラムのコピーで代用する申請が数件見られた。しかし出席点と発表点を別々に認めているのであるから、今後、参加証以外は出席点数を認めないことで徹底する。非常の場合は理由書を付すことにした。

女性医師の場合、名字が変更されていることがあり、事務局にもその届けが提出されていない場合本人の確認が困難なことがある。個人情報でもあるため強制は難しいが、今後は年会費請求のときに「記載事項に変更のある場合は事務局に連絡してください」と明記することにした。

専門医生涯教育制度細則について、3つの規約改定案を理事会へ上申した。(評議員会第9号議案及び総会第5号議案として示した)

4) 認定施設認定委員会

委員長：熊谷 憲夫

委員：石川 浩三、上田 和毅、岡 博昭、小室 裕造、田中 克己
横尾 和久、吉田 哲憲

開催年月日：平成20年4月9日 平成20年10月2日
平成21年2月13日 その他メール委員会

主な議題：1. 認定施設および教育関連施設の新規認定と更新認定
2. 施設番号表示について
3. 登録料・審査料について
4. 2010年度開始の疾患データベース運用についての検討

活動の概要：1. 認定施設は、新規申請20施設全てを認定した。
更新は234施設中231施設を認定、2施設を教育関連施設への転換を承認し、1施設を取り消しとした。
教育関連施設は、新規申請31施設全てを認定した。更新は161施設中134施設を認定し、17施設を認定施設への転換を承認、10施設を取り消しとした。教育関連施設美容外科は、新規申請2施設全てを認定した。
2. 2009年度より施設番号を番号表示にすることを提案し、理事会で承認が得られた。
3. 審査料・登録料について
従来、審査料は認定施設が10,000円、教育関連施設が5,000円であったが、審査に関わる手間は同じであるため両者とも10,000円に統一したい旨、理事会に提案し承認された。
4. 2010年1月1日よりデータベース運用が開始される。
それに伴い、2010年度からの報告では新分類(ケース2)にて審査することになり、規約改定案を提案し理事会で承認が得られた。

5) 学術教育委員会

委員長：田原 真也

委員：赤松 正、市岡 滋、井上要二郎、上村 哲司、梅田 整
江口 智明、岡 博昭、奥本 隆行、柏 克彦、梶川 明義
木村 中、下間亜由子、田中 嘉雄、寺師 浩人、橋川 和信
橋本 裕之、深水 秀一、村上 正洋、矢野 浩規、四ツ柳高敏

開催年月日：平成20年 4月10日 平成20年 4月14日
平成20年 5月 7日 平成20年 5月16日
平成20年 7月 3日 平成20年 8月11日

平成20年 9月 7日 平成20年10月 2日
平成20年10月 6日 平成20年10月23日
平成20年12月17日 平成21年 1月 8日
平成21年 2月27日(電子メール委員会を含む)

主な議題：1. 春季学術講習会開催の件
2. 秋季学術講習会開催の件
3. 学術奨励賞候補論文選定の件

活動の概要：1. 平成20年4月8日、春季学術講習会を名古屋マリオットアソシアホテルで開催した。参加申込は363名であった。
2. 平成20年10月1日、秋季学術講習会をリーガロイヤルホテル東京で開催した。参加申込は351名であった。
3. 平成20年度学術奨励賞候補論文を理事会に上申し、以下の2編が学術奨励賞に決定した。

《学術奨励賞》

・須網 博夫 (Department of Plastic Surgery, The University of Texas
M. D. Anderson Cancer Center)

“ Superficial Lymphatic System of the Upper Torso:
Preliminary Radiographic Results in Human Cadavers ”
Plast Reconstr Surg 121: 1231 -1239, 2008.

・石原 剛 (熊本大学皮膚機能病態学・形成外科学)

“ Submental Perforator Flap:
Location and Number of Submental Perforating Vessels ”
Scand J Plast Reconstr Hand Surg 42: 127 -131, 2008.

6) 機関誌編集委員会

委員長：細川 亙

担当理事：中島 龍夫

委員：石川 浩三、今井 啓介、上田 晃一、大竹 尚之、大山 知樹
楠本 健司、久徳 茂雄、光嶋 勲、坂井 靖夫、菅原 康志
鈴木 義久、多久嶋亮彦、田中 一郎、土佐 泰祥、鳥山 和宏
中岡 啓喜、西本 聡、橋本 裕之、藤川 昌和、三川 信之
宮坂 宗男、矢野 健二、山脇 吉朗、四ツ柳高敏

開催年月日：平成20年4月11日、平成20年10月15日(メール委員会)
平成20年12月18日(メール委員会)

主な議題：1. 学会誌発行号数削減について
2. 総会・基礎学術集会抄録オンライン化について
3. 電子投稿・査読システムについて
4. 投稿論文査読について

活動の概要：1. 理事会において学会誌発行費について検討されているが、編集委員会としてもさらに経費の削減を検討していくこととした。
2. 総会・基礎学術集会抄録をメディカルオンラインでアップすることを合意した。

3. 電子投稿・査読システムにむけてWGを発足することとした。

4. 平成20年(1~12月)の投稿状況と査読結果

投稿論文数	142篇
掲載決定	106篇
却下	13篇
取り下げ	1篇
査読・訂正中	22篇(平成21年3月13日現在)

7) 渉外・広報委員会

委員長：鳥飼 勝行

委員：岩波 正陽、緒方 寿夫、木下 浩二、清水 祐紀、白壁 征夫
原田 輝一、松尾 清

<ホームページ実務委員会>

委員長：松村 一

委員：荻野 浩希、寺田 伸一、二ノ宮邦稔、山田 直人

開催年月日：平成20年4月9日(合同) 平成20年10月2日

その他メール委員会

主な議題：1. 形成外科で扱う疾患の追加(顎変形症)

活動の概要：1. 形成外科で扱う疾患の改訂版のアップロードを終了した。

2. 学会ホームページの定期更新作業を行った。

3. 会員専用ページの追加をした。

4. ダウンロード資料の追加をした。

5. 他のホームページからのリンク依頼に対応した。

8) 国際委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：中塚 貴志、野崎 幹弘、平林 慎一、丸山 優、森口 隆彦

開催年月日：平成20年4月10日、その他メール委員会

主な議題：1. IPRAS/APS 開催について

2. 外国会員、海外在住名誉会員の推薦内規の見直し

活動の概要：1. The 10th Congress of IPRAS/APS 開催について協議した。

2. 外国会員、海外在住名誉会員の推薦に関する従来の内規の見直しを行った。

9) 社会保険委員会

委員長：金子 剛

担当理事：保阪 善昭

委員：相原 正記、秋元 正宇、井砂 司、井上 邦雄、井上要二郎

岩澤 幹直、宇田川晃一、大久保文雄、大西 清、大場 創介

貴志 和生、島田 賢一、関口 順輔、田中 嘉雄、鳥山 和宏

西村 剛三、二ノ宮邦稔、前川 二郎、湊 祐廣、村上 隆一

吉田 哲憲

開催年月日：平成20年4月11日(全体) 平成20年10月3日(全体)

平成21年2月21日(在京) その他適宜 e-mail 委員会

活動の概要： 1 . 診療報酬改正（主たる項目のみ記載）

なし（改正年度ではない）

2 . 2 0 1 0 年度新設改正要望

大改正に向けて以下の項目につき医療技術（再）評価希望書を作成し外保連を通じて厚生労働省に提出する予定。

〔新設 8 件〕

局所陰圧閉鎖療法（手術）

局所陰圧閉鎖処置（処置）

併施手術の追加及び増点

顔面多発骨折変形治癒矯正術

骨内異物除去術（頭蓋，顔面）： 3 . 両側または上下顎 の追加

ICG による赤外線蛍光リンパ管造影

乳房縮小術（性別転換手術における）

陰茎再建術（尿道再建を伴う）

〔改正 5 件〕

分層植皮術の増点

顎・口蓋裂形成手術 4 . 両側の新設

画像等手術支援加算 実物大臓器実体モデルによるものの増点

内視鏡下（補助下を含む）手術の認可

頬・口唇・舌小体形成術の増点

〔医療材料 2 件〕

局所陰圧閉鎖療法関連材料

植皮術におけるスキンステイプラー

3 . 外科系学会保険委員会連合（外保連）関連

外保連活動への参加状況

常任委員：関口順輔，金子 剛

総務委員会：関口順輔

実務委員会：大西 清

手術委員会：金子 剛（副委員長）、大西 清、相原正記（コーディングワーキンググループ）

前川二郎（医療材料・医療機器ワーキンググループ）

処置委員会：関口順輔（委員長）、宇田川晃一

検査委員会：宇田川晃一、相原正記

広報委員会：金子 剛

外保連から厚生労働省に提出する社会保険診療報酬改正要望書の作成に参加した。

外保連 3 試案（手術，処置，検査）の内容の検討に協力した。

4 . 日本医師会疑義解釈委員会関連

平成 2 0 年度第 2 回供給停止予定品目について検討。形成

外科に関係するものとして、第一三共株式会社の“エレース”が供給停止となった。

形成外科関連では自家培養表皮（ジェイス）について、皮膚科学会飯島正文委員（昭和大学皮膚科教授，同病院長）と連名で答申を行った。追加で実施された臨床治験が2例と少ないために条件付で承認可との答申を行った。

5. 先進医療専門家会議関連

形成外科関連の新規技術はなし。

「不全穿通枝を伴う下肢慢性静脈不全症に対する内視鏡下筋膜下穿通枝切離術」の審議が予定されている（平成21年4月9日予定）。

6. 高度医療評価会議関連

岩手医科大学病院より申請のあった腹腔鏡下肝切除術が承認された。

7. 保険医療材料専門組織関連

形成外科関連では自家培養表皮（ジェイス）について審議し、保険適応決定区分案を作成した。保険償還価格を原価計算方式で306,000円、その他算定の条件を定めた。

8. DPC 関連

厚労省保険局医療課 MDC 毎作業班に以下の如く班長又は班員として参加して診断群分類の精緻化、適正化に協力した。

MDC1 神経，MDC2 眼 大久保文雄

MDC3 耳鼻科 金子 剛

MDC7 筋骨 二ノ宮邦稔

MDC8 皮膚 相原正記（班員）

MDC9 乳腺 貴志和生

MDC14 先天異常 宇田川晃一

MDC16 外傷その他 金子 剛（班長） 井砂 司（班員） 秋元正宇（班員）

厚労省保険局MDC毎作業班での横断的検討項目として計17件を提出した。内訳はMDC2(1)，MDC7(5)，MDC9(3)，MDC14(8)（括弧内は件数）。MDC16では15件であった。

9. 日本小児期外科系関連学会協議会（JPASS）関連

日本小児期外科系関連学会協議会として厚生労働省あて改正要望書を準備中。平成21年4月16日に委員会を予定している。

10. 広報活動

ランチョンセミナーを総会中の4月24日に予定している

司会：関口順輔，金子 剛

演者：相原正記，宇田川晃一，大西 清

平成20年度社会保険形成外科診療報酬点数早見表の監修を行った(株)キッセイ薬品工業の販促品として全国の形成外

科に配布された。

11.その他

血管腫・血管奇形に対する硬化療法の高度医療制度への申請について

平成20年11月27日に KKR 札幌医療センター斗南病院 佐々木了先生、東京労災病院渡邊彰二先生と厚労省医政局研究開発課にて事前相談を行った。

性別適合手術の保険収載についての検討

岡山大学木股敬裕先生、難波祐三郎先生より依頼があり検討した。現在実施されている手術内容を検討した結果、現行のK番号のついている手術、外保連手術試案に登録されている手術にも当てはまらないものが多いのでこれらについては順次外保連手術試案に登録することとした。今後先進医療申請を検討する。

日本熱傷学会より皮膚移植術改正要望への協力依頼

日本熱傷学会佐々木健司会長より協力依頼がありアドバイス等を行った。スキンバンクネットワークの財政が危機に陥っており、皮膚移植術を実コストに見合ったものとするために日本熱傷学会から厚生労働省に改正要望を行うとのことである。

10)メンバーシップ委員会

委員長：鳥居 修平

担当理事：渡辺 克益

委員：酒井 直彦、佐々木健司、森口 隆彦

活動の概要：特になし。

11)倫理委員会

委員長：渡辺 克益

委員：大慈弥裕之、多久嶋亮彦、土井 秀明、吉村浩太郎、中島 龍夫

開催年月日：平成20年4月9日、平成20年10月3日、

その他メール委員会

主な議題：1.日本形成外科学会疾患登録システムにおける倫理的審査の承認
2.倫理委員会規定の作成

活動の概要：1.疾患データベース WG 木股敬裕委員長から申請のあった日本形成外科学会疾患登録システムについて、倫理的審査を行い承認した。

2.倫理委員会規定の作成を行って理事会に上申した。(評議員会第10号議案及び総会第6号議案として示した)

12)定款検討委員会

委員長：百束 比古

担当理事：中島 龍夫

委員：内田 満、熊谷 憲夫、平野 明喜

開催年月日：メール委員会随時

主な議題：評議員選挙施行細則の改定、専門医制度細則の改定、各種委員会規定の改定、専門医生涯教育委員会細則の改定、倫理委員会規定の新設

活動の概要：上記議題につき改定あるいは新設作業を行った。（評議員会第9、10号議案及び総会第5、6号議案として示した）

13) 企画調査委員会

委員長：木股 敬裕

担当理事：鳥飼 勝行

委員：秋田 定伯、大竹 尚之、垣淵 正男、澤泉 雅之、橋本 一郎
朴 修三、矢野 健二

開催年月日：平成20年4月11日、平成20年10月2日

主な議題：1.平成19年-20年度の活動方針について
2.形成外科疾患データベースWG活動の継続
3.形成外科女性医師における学会としての取り組み
4.形成外科専門医の卒後教育の現状把握

活動の概要：1.女性医師における勤務実態調査に関わるアンケート作成。
2.専門医の卒後教育に関わる調査の検討。

<データベースWG>

委員長：木股 敬裕

委員：垣淵 正男、金子 剛、小林誠一郎、小林 正弘、小室 裕造
武石 明精、田中 克己、前川 二郎、矢野 健二、山野辺裕二

開催年月日：データベースWG会議：平成20年4月8-11日 6月12日
8月29日 10月2日

データベースシステム会議：平成20年4月8-11日、4月24日、
5月2日、5月27日、6月3日、6月12日、8月5日、
8月29日、10月2日、12月26日、平成21年2月10日

その他：e-mail委員会30回以上

主な議題：1.システム内容
2.新疾患分類
3.新医療行為分類
4.システム開発費用
5.倫理委員会
6.認定施設などの施設申請資料の検討
7.データベース集計・解析内容の検討
8.データベース配布時期の検討
9.各種委員会との関連性についての検討
10.データベース改訂項目の検討

活動の概要：1.新疾患分類に関するアンケート調査
2.新疾患分類の完成
3.新疾患分類に伴う新医療行為分類の完成
4.データベース研究計画書の作成と倫理委員会への申請の承認
パブリックリサーチ倫理審査：平成20年 7月 2日

- 形成外科学会倫理審査：平成20年10月 3日
岡山大学倫理審査：平成21年 1月27日
5. 認定施設などの施設認定申請書類に関する案の作成、関係委員会への提案
 6. DBに関する会告と倫理委員会関係書類のホームページ掲載
 7. システムの開発とデモ版の完成
 8. デモ版の、WG と特殊施設における試運転の開始
 9. 収集データの出力解析内容の検討
 10. 今後の流れについての検討

今後の予定

1) 施設認定関係の報告書内容の決定とシステムへの組み込み作業

データベースシステムに組み込むべき施設認定関係の報告書内容は本評議員会・総会で決定される。その後、速やかにシステムに組み込む作業を開始

2) 本システムの各施設への配布

ソフトウェア、操作説明書、疾患医療行為分類冊子、倫理委員会関係書類、各施設掲示ポスターなどを含めた資料を7月中には配布予定

3) 本システムの各施設での試運転

システム配布後、速やかに各施設で試運転していただき、2010年1月1日からのシステム運用開始までの問題点・改良点などの解決期間とする

4) 本システムに関するQ&A

秋の基礎学会にて、システム運用に関するQ&Aと実際にシステムをPC上で動かす機会を設ける予定。

5) 本システムの各施設での運用開始時期

2010年1月1日から運用開始。2010年1月1日から12月31日までの資料を、学会事務局にて収集する。2011年1月に学会に資料を郵送する。

6) 認定施設などの施設認定に関する結果

2010年次の各施設の資料を元に、2011年初めに学会事務局にて結果報告。

7) 収集資料の解析と公表

2010年次の全国の各施設の資料を元に、2011年度中にはその解析に関する冊子作成と配布、ホームページ掲載などを予定。

8) 各種委員会、各施設に対し、本データベースシステムを利用した研究希望の調査

本システムを更に有効に活用していただくために、各種委員会や各施設に対し、本システムを利用した研究希望の調査を行う。

14) 関連領域検討委員会

委員長：清川 兼輔

委員：秋田 定伯、岩澤 幹直、岩平 佳子、大城 貴史、黒川 正人
瀬崎晃一郎、中塚 貴志、三鍋 俊春

開催年月日：平成20年4月10日、平成20年10月2日

主な議題：参加を優先すべき関連学会について

活動の概要：1. 専門医更新の際に関連学会の会員であることを点数化する旨、将来計画委員会へ申し送ることとした。また、今後2階建ての

専門医制度の推進が進められているため、関連学会はむしろその2階建ての部分で点数化すべきとの意見が出され、これも将来計画委員会へ申し送ることとした。

15) 用語委員会

委員長：柴田 実

委員：梅田 整、垣淵 正男、亀井 譲、木村 得尚、久徳 茂雄
清澤 智晴、桜井 裕之、田中 一郎、野瀬 謙介、福屋 安彦
吉田 純、吉本 信也

開催年月日：平成20年4月11日、平成20年10月3日

主な議題：形成外科用語集第5版改訂作業

活動の概況：形成外科用語集第5版は、4月の総会時より販売を開始する。用語集に関しては次年度予算案にて既に検討いただいているので、1冊2000円で2000部を完売するよう努力したい。

今後は用語集を発行せず医学会発行の用語集に収録する予定である。全て収録されるのかどうかについては、日本医学会用語委員会ではこちらの意向に従う予定であるが、量が非常に多い場合は双方話し合いの上で検討される。不要と判断された用語は載せられない可能性もあるが頻度の高い重要な用語が削除される可能性はない。第5版が完了した後、再度日本医学会に問い合わせる予定である。

16) ビデオライブラリー委員会

委員長：柴田 実

委員：飯田 直成、木下 浩二、清澤 智晴、竹内 正樹、三鍋 俊春

開催年月日：平成20年4月10日、平成20年10月2日

主な議題：現存のビデオのDVD化及び10症例に関するDVD作製

活動の概要：現存のビデオのDVD化について検討してきたが、販売については著作権や個人情報の問題が関わっているため、倫理委員会の承認が必要と考えている。倫理委員会も倫理委員会規定等整備されているので、審査等行っていただきながら具体化する予定である。また、今後は10症例に相当するDVDを作製、有料販売を検討しており、すでに依頼者リストも作成した。しかし、現存ビデオのDVD化同様、個人情報等に関する問題が生じているので、こちらも併せて検討する予定である。

17) 専門医試験問題作成委員会

委員長：山本 有平

委員：田中 克己、土佐 泰祥、三鍋 俊春、菅原 康志、寺師 浩人、
赤松 正、大場 創介、緒方 寿夫、柏 克彦、貴志 和生
倉片 優、桑原 理充、桜庭 実、澤泉 雅之、白壁 征夫
堤田 新、西村 剛三、橋本 一郎、朴 修三、三川 信之
元村 尚嗣、山内 俊彦、渡邊 彰二 *下線は分野責任者

開催年月日：平成20年4月9日、平成20年10月2日：委員全体会議

平成20年11月29日：分野責任者会議

その他メール委員会：多数

主な議題：1. 目次の改編、表記の統一

- * 目次の改編および各分野の問題を、中項目に従い、分野内配置変換
- * カタカナ表記と英語表記の統一
- * 用語・疾患名の統一
- * 設問文型式の統一

活動の内容：1. 分野責任者 & 各分野担当委員の継続

2. 平成20年度版問題集 CD-ROM の作成
3. 平成20年度版問題集 CD-ROM の配布、販売
4. 問題の見直し & 再編業務

【来年度以降に向けての課題】

1. 各分野の記述式問題の見直し
2. 解説文の検討
3. 新問題の追加
 - ・眼瞼の霰粒腫、麦粒腫、汗管腫
 - ・ニキビなどに関する問題、皮膚美容
 - ・検査法や診察法など診断に関する問題、創傷の処置法、消毒、止血、縫合手技、などの一般的な事項

目 次

形成外科学会専門医試験問題集

1. 解剖	P 1 ~ 70
総論	《問題番号 1 ~ 26》P 1 ~ 6
頭頸部	《問題番号 27 ~ 68》P 7 ~ 15
顔面	《問題番号 69 ~ 255》P 16 ~ 53
体幹	《問題番号 256 ~ 307》P 54 ~ 64
四肢	《問題番号 308 ~ 332》P 65 ~ 70
2. 創傷治癒	P 1 ~ 28
基礎研究	《問題番号 1 ~ 65》P 1 ~ 14
臨床治療	《問題番号 66 ~ 134》P 15 ~ 28
3. 熱傷	P 1 ~ 41
総論	《問題番号 1 ~ 106》P 1 ~ 22
保存的療法（輸液・栄養管理）	《問題番号 107 ~ 138》P 23 ~ 29
外科的療法	《問題番号 139 ~ 171》P 30 ~ 36
特殊部位	《問題番号 172 ~ 191》P 37 ~ 41
4. 顔面外傷	P 1 ~ 66
総論	《問題番号 1 ~ 96》P 1 ~ 20
軟部組織損傷	《問題番号 97 ~ 127》P 21 ~ 27
顔面骨折	《問題番号 128 ~ 295》P 28 ~ 61
特殊部位	《問題番号 296 ~ 315》P 62 ~ 66
5. 唇裂・口蓋裂	P 1 ~ 47
総論	《問題番号 1 ~ 113》P 1 ~ 23
手術療法	《問題番号 114 ~ 184》P 24 ~ 38
言語治療	《問題番号 185 ~ 203》P 39 ~ 42
その他	《問題番号 204 ~ 225》P 43 ~ 47
6. 手・足の先天異常、外傷	P 1 ~ 44
総論・再建	《問題番号 1 ~ 31》P 1 ~ 7
生理・解剖	《問題番号 32 ~ 80》P 8 ~ 17
外傷・神経麻痺	《問題番号 81 ~ 154》P 18 ~ 32
先天異常	《問題番号 155 ~ 178》P 33 ~ 37
その他	《問題番号 179 ~ 212》P 38 ~ 44

18) 将来計画特別委員会

委員長：川上 重彦

委員：多久嶋亮彦、田原 真也、野崎 幹弘、波利井清紀、松本 和也
村上 正洋、山本 有平

開催年月日：平成20年4月9日、平成20年10月3日、メール委員会

主な議題：1. 関連学会への入会

2. 各種委員会の統廃合について

3. 皮膚腫瘍に関する認定制度について

活動の概要：1. 関連領域検討委員会より、関連学会への入会を促進するため、関連学会入会歴を専門医更新時の点数として計上できないか専門医生涯教育委員会に検討を依頼した。

2. 理事長より各種委員会の統廃合案を作成し、理事会に提出した。

3. 理事長より皮膚腫瘍に関する認定制度案の骨子を作成し、理事会に提出した。

<ガイドライン作成委員会>

委員長：小林誠一郎

委員：菅原 康志、江口 智明、寺師 浩人、秋本 正宇、清澤 智晴、
緒方 寿夫

開催年月日：平成20年4月10日、平成20年10月2日、
その他メール委員会

活動の概要：1. 企画調査委員会にて実施したガイドライン作成優先順位調査に基づき、まず上位10疾患を選定した。

2. 患者向けガイドブックの作成要項案を検討した。

3. 疾患別WGを立ち上げることとし、責任者の選定を行った

4. 理事会より以下の指示があり、ガイドライン作成にかかる検討を開始した。

[理事会よりの指示] ホームページの改訂・拡充があったため、患者向けガイドブックの作成については、当分の間活動を休止し、ガイドラインの作成に着手する。

5. ガイドライン作成について以下のごとく案を作成し、理事会に答申した。

(1) 作成手順の概要：

形成総会でガイドラインシンポジウムを組む(例えば頬骨骨折ガイドラインシンポジウムなど)。発表者には事前に文献検索による推奨度を決定してもらい発表をお願いする(多くは推奨度C以下となる可能性が大きい)。シンポジウムでの討論などを踏まえた上で、内容を座長がとりまとめ、委員会、理事会のコンセンサスを得て、形成外科学会誌に発表する。

(2) ガイドライン作成の順序についての案

a) ガイドライン作成順序に対する方針。

- ・以前に実施したアンケート順位15位程度から選ぶ。
- ・ガイドラインとして取りまとめるのに難しいものがあり、疾患の選定には総会会長の裁量を加味する。
- ・まとまりそうなものでアピール度の高いものを優先する。

・他学会で作成されているもの、あるいは作成が期待できるものを除外する。

・必要な場合には他学会とも連携して作成する。

- b) アンケート調査よりのガイドライン作成疾患順位評価
1 唇裂, 2 口蓋裂, 3 顔面骨骨折, 4 ケロイド・肥厚性瘢痕, 5 耳介の先天異常(小耳症・埋没耳), 6 多指(趾)症, 7 乳房再建
(作成優先度: は優、 は可、×は不可(他学会で作成))

19) 選挙制度検討委員会

委員長: 清川 兼輔

委員: 朝戸 裕貴、井砂 司、石倉 直敬、一瀬 正治、上村 哲司
菊池 雄二、角谷 徳芳、竹内 正樹

開催年月日: 平成20年4月9日、平成20年10月3日

主な議題: 評議員選挙における一票の格差について

活動の概要: 評議員選挙の際、各地方支部の間に一票の格差が生じている。今後この格差が拡大するようであれば、各支部の定数を調節する必要がある旨、制度検討委員会へ申し送ることとした。

20) 国際医療協力委員会

委員長: 内沼 栄樹

委員: 青木 律、磯貝 典孝、木村 中、小林 一夫、佐藤 兼重
下間亜由子、西野 健一、福屋 安彦

開催年月日: 平成20年4月11日、平成20年10月2日、
その他メール委員会

主な議題: 国際医療協力の現状と将来対応について

活動の概要: 1. 現状把握のため、234認定施設にアンケート調査を行った(平成20年8月、回答率51%)。国際医療協力を企画している施設が2、実践している施設が12、経験した施設が3、その他受け入れ協力をしている等が3施設であった。
2. 多年に渡る活動に対し学会として賞を検討することや、他学会との連携等が今後の検討事項。
3. 渉外・広報委員会に統合後も、下部組織として「国際医療協力委員会」の存続の重要性が確認された。

21) 医療用器材等検討委員会

委員長: 内沼 栄樹

委員: 青木 律、岩平 佳子、黒川 正人、桜井 裕之、中岡 啓喜
百束 比古、松村 一、迎 伸彦、吉田 純

開催年月日: 平成20年4月10日、平成20年10月3日、
その他メール委員会

主な議題: 医療用器材の安全性と広告のありかたについて

活動の概要: 1. 薬事申請、保険収載、FDA、EU等の許認可状況や適応症

について、第51回日形会総会に商業展示した企業97社を対象にアンケート調査を行った（平成20年8月、回答率25%）。今後は、各企業に対し展示の際、許認可等の情報開示の提示を求める重要性が確認された。

2. 医療安全推進委員会に統合後も、日本美容外科学会や日本美容医療協会との協力体制の重要性が確認された。

2.2) 専門医制度検討委員会

委員長：鈴木 茂彦

委員：熊谷 憲夫、菅原 康志、中西 秀樹、藤川 昌和、山本 有平
吉村 陽子

開催年月日：平成21年4月11日、その他メール委員会

主な議題：1. 専門医制度にかかわる諸問題の検討

2. データベースWG委員会からの依頼事項の検討

活動の概要：1. 専門医制評価・認定機構からの要請事項、指摘事項の検討

2. 認定施設認定（更新）審査に関して、データベース稼働後は移行期の事務的煩雑さをなくすべく、早急に、ただし拙速を避けて、新分類に基づく認定施設認定（更新）基準を作成するのが好ましい旨の意見を理事長に答申し、具体的作業は認定施設認定委員会に依頼した。

3. 専門医試験受験資格に係る疾患分類項目の抜本改正についても専門医認定委員会とともに検討したが、DBの稼働が決まったため少し待つことになった。

2.3) 医療安全推進委員会

委員長：保阪 善昭

委員：内沼 栄樹、嘉島 信忠、片倉 優、毛山 章、小園喜久夫
小林誠一郎、館 正弘、仲沢 弘明、西野 健一、平野 明喜
細川 互、松本 和也、迎 伸彦、山脇 吉朗、横尾 和久

開催年月日：平成20年4月10日、平成20年10月3日

主な議題：1. 迅速な情報収集に対する対応システム

2. 各支部ごとの委員の選任

活動の概要：1. 以下をホームページにアップロードした。

キロカイン委員の添付文書の禁忌事項の変更及びそれに対する麻酔科学会の声明文

ヘパリン酸ナトリウム製剤自主回収について

ボトックス製剤の眉間皺治療に対する厚生省の認可及びそれに対する注意事項

2. 医療安全推進委員会の今後の活動について検討